

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。

**2 株式会社地域開発が
木製サイクルスタンドを寄贈**

株式会社地域開発(長崎市)が、市が整備を進めている自転車歩行者専用道路の利用拡大につながるように「木製サイクルスタンド」を5基寄贈されました。

中島代表取締役社長は「これまで市のさまざまな事業に関わらせていただき、恩返しとして寄贈させていただいた。自転車歩行者専用道路が多くの人に利用されることを期待します」と話しました。

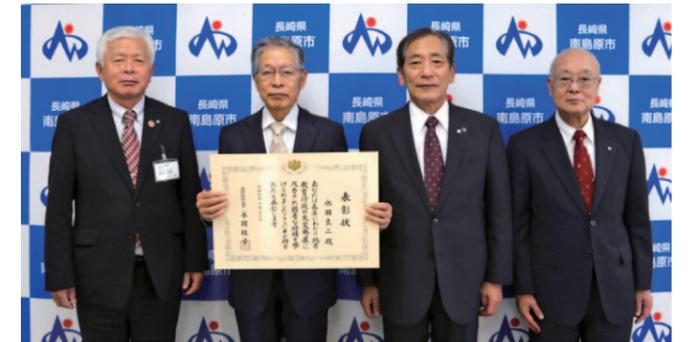
**4 ずっといい夫婦で**

11月22日の「いい夫婦の日」に、ありえコレジヨホールで「南島原市金婚式」を開催しました。

2022年に結婚50周年を迎える夫婦69組のうち、30組が出席し、松本市長がお祝い状などを授与し、お祝いの言葉を贈りました。

出席者を代表して、中村水寶さん・美津代さんご夫婦(南有馬町)は「1972年5月15日の沖縄返還の日に結婚した。返還50周年の報道で金婚式を迎えたことを認識した。人生100年時代。まだまだ先は長いので地域に貢献したい」と謝辞を述べました。

金婚を迎えられた皆さん、これからもずっといい夫婦でお過ごしください。



左から、松本教育長、永田前教育長、松本市長、山口副市長

1 永田前教育長が地方教育行政功勞を受賞

平成26年8月から令和3年8月まで本市教育長を務めた永田良二さん(西有家町)が長年にわたり地方教育行政の充実発展に尽力されたことが認められ、地方教育行政功勞を受賞されました。

永田さんは、小学校の統廃合による適正配置、市給食センターの建設、アートビレッジ・シラキノや市多目的運動広場(Arrivo! 南島原)の整備、原城跡の世界文化遺産登録に尽力されるなど、本市教育行政に多大な功績を残されました。

受賞報告のため、市役所を訪問された永田さんは「市の教育に対する取り組みが評価されたようで大変嬉しく思う。苦労もあったが、整備を進めた多くの施設が有効活用されてよかったですと感じている。これからは、一市民として市政に協力していきたい」と話しました。



左から、城谷北有馬地区老人クラブ連合会長、山口さん、松本市長、溝田日野江城ライオンズクラブ会長

3 97歳でグラウンド・ゴルフの頂点に!

11月10日に開催された第9回日野江城ライオンズクラブ杯グラウンド・ゴルフ大会において、大会最年長で97歳の山口義春さん(北有馬町)が2連覇を達成されました。

市役所に報告に訪れた山口さんは「60代からグラウンド・ゴルフを始め、ケガなどもあったがこの歳で優勝できて本当によかった。好きなことを続けることが健康のもとだと思い、できる限り続けて、来年も再来年も優勝したい」と今後の抱負を話しました。

Focus in 南島原

**レンズをのぞけば
アオハル
#僕たちの青春**

このコーナーは、市内高校生(口加高・島原翔南高)の視点から見た市の風景や出来事などをお届けするコラボ企画です。



パソコン部員が参加したワープロ競技大会に向かう朝、深江町で撮影しました。有明海と朝焼けの空がきれいで大会の緊張がほぐれました。

手前に写っているのは漁船です。夜が明けないうちに魚を獲って帰るところでしょうか。時には早朝に有明海を眺めてみると素晴らしい景色を見ることができるともかもしれません。

こちらもチェック! (翔南PCブラザーズ)

市Facebook 撮ってくれね南島原

**いつまでもお元気で
~100歳おめでとうございます~**

山下 トシエさん(布津町)
大正11年12月1日生まれ

赤星 シゲ子さん(南有馬町)
大正11年12月5日生まれ



酒井 ムキヨさん(加津佐町)
大正11年12月7日生まれ

**5 目指せ未来の芸術家・科学者**

11月20日、「第16回北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展」の表彰式を行いました。

西望賞教育美術展では、西望賞6点のほか88点が入賞、また古野賞科学技術展では、古野賞2点のほか12点が入賞しました。

審査員からは「私たちの身のまわりには感動するものがたくさんあります。山や海など外に出ていろいろなものを見て観察しましょう。何かが見つかります。郷土の先輩である古野氏になって、それぞれの課題解明に取り組んでいます。小さな研究者として頼もしさを感じます」との評評がありました。

受賞者の皆さん、おめでとうございます。



馬場さん(右から2人目)と参加者の皆さん

6 みかん農業について学習

12月4日、市内産果樹のブランド化に向けたイメージアップを図るとともに、市内における果樹農業就農へのきっかけをつくろうと、みかんの農業(収穫)体験を開催しました。

参加者は、生産者の馬場亮輔さん(南有馬町)からおいしいみかんの選び方やはさみの使い方などの説明を受けると、みかん畑へ向かい農業体験を行いました。

旬のみかんを試食した参加者は「みずみずしくて、とてもおいしい」「今年の冬も甘いみかんをいっぱい食べたい」などと笑顔で話しました。

